

あゝ

2003年夏季号(通巻54号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp



アイラブ ホストファーザー

山道町 安藤 亜希子

私の留学した街、カリフォルニア州サンタバーバラは、一年中温暖で自然に恵まれた美しい街です。建物は、スペイン風の白壁に赤茶色の瓦屋根。通りやお店もスペイン語の名前が多いので、なじむまでには、少し時間がかかりました。また、スペイン語しか話せない住民も多く、地元の学校で英語を習っている人たちもいました。

私は、メキシコ系アメリカ人の家庭で、2、3人の留学生と共にホームステイをしていました。その家の主であるお父さんは、60代前半で、不動産会社に勤めており、週末や夜でも電話が入ると、すぐにお客さんの所へ飛んで行くという人でした。しかし、仕事の合間には、ドライ



ブがてら、丘の上に立ち並ぶ邸宅を見に連れて行ってくれたり、時には入居予定の空き家の補修工事や掃除を私たちに

手伝わせてくれました。

お父さんは、昔、アルコールに依存していたことがあったのですが、週末には、アルコール依存者の集会に出席もしていました。そこへ私たち留学生を連れて行ってくれたりしましたので、集会の見学や参加者とのランチを共にする機会も与えてくれました。そこでは、それぞれの悩みや気持ちなどを打ち明け合い、お互いに理解し、励まし合うことで、人々が懸命に生きている姿を間近に見ることができました。お父さんは、禁酒して30年になったということで、勲章を授与されたのですが、改めて尊敬の念を抱きました。

サンタバーバラでの思い出はたくさんありますが、貴重な経験を与えてくれたお父さんには、とても感謝しています。弱気になると、いつも私に「Don't be a wimp! Be tough!」(弱虫になるな、強くあれ!)と、力強く励ましてくれたお父さん。まるで昨日のこのように、今も私の脳裏によみがえってきます。